

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年3月23日

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C		
横断的な課題	人口減少下における持続可能な地域づくり						
地域重点政策	人口減少下における持続可能な地域づくり					木曾地域振興局	
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	社会的起業支援事業				電話	8-238-2241	
				E-mail	kisochoi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業概要	目的 (目指す姿)	地域の活性化と地域課題の解決につなげると共に、起業しやすい地域づくりを進めることで、木曾地域で起業を目指す方への支援を行う。					
	現状と課題	<p>○木曾地域は人口は少ないものの、移住者が多かったり、町村ごとに起業支援施策を設けていたり、近年数が増えている「身の丈起業」を始める場所として適所である。</p> <p>○一方で、起業したいと思っている人の初期段階での後押しや、同じ思いを持った仲間たちと起業マインドを学ぶ場が少ない。</p> <p>○そこで、木曾地域振興局では R1から起業塾を実施している。(参加者合計:受講者102名 修了者88名うち16名が起業)</p> <p>○ 起業する者がさらに増え、より起業しやすい地域としていくためには、多くの方に本講座への参加に対する気運の醸成と起業への意欲を高めてもらう必要がある。</p>					
概要	内容 (変更後の内容)	<p>○ R7も引き続き希望者に対し研修会を開催するとともに、修了生へのフォローアップを実施し、管内商工会等とも連携しながら起業における相談や情報共有の場をつくり、地域の支援サービスにつなげていく。</p> <p>受講者アンケートの結果、満足度90%以上の講座となっているので、今年も同等の満足度が得られるような講座にする。</p> <p>○ 研修会、個別相談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾地域で新たな事業をはじめようと考えている人を対象に、長野県立大学の教授による起業マインドを高めるための研修会(年3回)を実施し、起業に向けた心構えやノウハウを学んでもらう。 ・あわせて個別相談会を実施し、起業を考えている参加者に対して、よりきめ細やかなバックアップを行う。 ・当地域の特性に合わせた周知方法として、町村に回覧配布を依頼し、地域全体への確実な周知を行う。 <p>○ フォローアップ講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了生に対するフォローアップ講座を実施し(年1回)、起業に対する講師のアドバイス、参加者間の情報交換を通して、地域の活性化や地域課題の解決につながる起業を支援する。 <p>○ 管内商工会と連携しての継続的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業塾及びフォローアップ講座等の機会を捉えて、専門的な知見を有する商工会等の機能を紹介し、活用を促進することで専門的かつ継続的支援に繋げる。 					
		事業期間	令和7年5月		～	令和7年10月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	起業に関する研修	研修会(3回)	96,280	報償費(7節)79,200円(@6,600円×4時間×3回) 旅費(8節)17,080円			
	修了者に対するフォローアップ	研修会(1回)	35,140	報償費(7節)26,400円(@6,600円×4時間×1回) 旅費(8節)8,740円			
	研修会参加者、修了者を対象とした個別相談	個別相談会(3回)	9,900	報償費(7節)9,900円(@3,300円×3回)			
資料作成等	—	42,380	消耗品(10節)10,617円 郵送(11節)2,160円 複写機使用料(13節)29,603円				
	合計		183,700				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	起業に関する研修会の参加者数		16名以上	11名	○ 達成		
	起業に関する研修会受講者の満足度		90%以上	100%	● 一部達成		
	フォローアップ講座の参加者数		10名以上	13名	○ 未達成		
	フォローアップ講座受講者の満足度		85%以上	100%			
事業実績・成果	<p>【事業実績】</p> <p>○ 起業塾は7月7日、8月4日、9月5日の日程で開催し、11名が参加、うち9名が修了した。</p> <p>過去の修了生あて周知依頼や図書館へのチラシ配架等、例年と同様の方法で開催周知を行ったが、情報の伝達先が限られ、当初の目標であった16名以上の参加は達成できなかったことから、次年度以降は周知方法の再検討が必要。</p> <p>○ フォローアップ講座は5月19日に開催し、R1～R6年度修了生に呼びかけ13名が参加した。</p> <p>○ 今年度は、すでに自身のやりたいことが明確な参加者も多く、講師による個別相談会にも3名が参加した。</p> <p>また、参加者間の情報交換や起業塾終了後の交流もあるようで、つながり作りの場としても機能していた。</p> <p>○ 町村商工会の連絡先や支援施策、各町村の創業支援施策、県の創業支援制度について受講者へ案内を行い、今後の活用を促した。</p>						
	<p>【成果】</p> <p>・参加者の中には、「信州ベンチャーコンテスト」に応募した方もおり、本講座での情報提供や相談、サポートによって、起業の機運醸成につながった。</p>						
今後の方向性	修了生のフォローを通じて地域活性化や地域課題の解決につながる起業の環境づくりをするとともに、管内商工会や長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センター等と連携して、引き続き起業支援を実施する。						